

まちの話題

国保税率を改正

七月二十三日、第五回市議会臨時会が開かれ、提案された三つの議案はすべて原案どおり可決されました。

可決された議案

・白根市国民健康保険条例の一部改正について

国保財政は、高齢化などによる医療費の増加と、経済基調の変化による保険料収入の減収が見込まれるなど、財政基盤の不安定化が増大しています。また、現在の経済情勢では所得の伸びは期待できず、保険料の軽減世帯も増加しています。

このような財政運営困難に対処するため、保険料率の改正が行われることになりました。今回の改正では、保険料率の平準化（所得割や資産割による収入の「応能割」と、均等割や平等割による収入の「応益割」の割合を同じ程度にすること）を進めています。平準化を進めることにより、各年度による保険料率の増減を少なくし、安定的な財政基盤を確保することができそうです。

今回の保険料率の改正（所得割と資産割を下げ、均等割と平等割を上げる）により、現行と比較して一人当たり二・二パーセントの保険料率の増加となります。これは県下二十市の平均を下回る程度の金額となる見込みです。

第五回市議会臨時会

更に伴い、所得が一定以下の世帯に対する保険料の負担軽減を図る軽減割合が、拡充されます。

・平成十一年度白根市国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第一号)

既決の予算総額に一億五千七百七十八万九千円を追加して、予算総額を二十六億六千七百六十三万三千円としました。

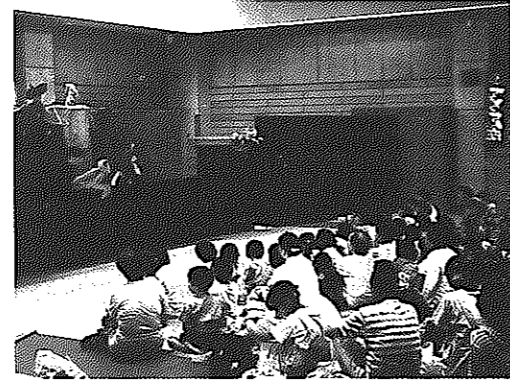
前述のとおり、国民健康保険制度の安定した運営を目指すため、国保税率の改正が行われます。それに伴い、歳入において、その算出根拠の変更になるもの見直しなどの予算の補正を行いました。また歳出では、当初予算において一部計上を留保していた老人保健拠出金の計上などを行って行っています。

・平成十一年度白根市一般会計補正予算(第二号)

既決の予算総額に三千万円を追加して、予算総額を百二十一億五千八百九十三万三千円としました。

国民健康保険料の軽減措置分については、一般会計は国庫負担金と県負担金を受けて、国民健康保険事業勘定特別会計に繰り出しますが、歳出では、今回の見直しに伴う、その不足額の計上を行いました。歳入では、国庫負担金は二分の一、県負担金は四分の一の負担率で計上、また一般会計負担分では前年度繰越金の一部計上を行いました。

親子そろって楽しい夏休み



中央公民館・人形劇団「ちようちん座」公演

七月二十四日、中央公民館主催の人形劇団「ちようちん座」の公演が、カルチャーセンターで行われ、会場は約百五十人の親子連れでにぎわいました。

ちようちん座は、結成九年目。六人の主婦によるすべて手作りのオリジナル人形劇を演じます。この日は天狗の子供の話と木を守る虫たちの話に「天狗が出た」「あ、カマキリだ」と会場の子供たちは大喜び。あるお父さんは「家族サービスで楽しめる良い機会でした。次の公演を楽しみにしています」と話してくれました。

守ろう、私たちの川



信濃川クリーン作戦

七月十一日、「信濃川をきれいにする会」が主催する「信濃川クリーン作戦」が行われました。これは信濃川と中ノ川沿いの清掃活動で、五年前から河川愛護月間の七月に行われています。

強い日差しが照りつける中、両河川沿線の六地区からおよそ一千五百人の市民が参加し、朝早くからごみや空き缶を拾いました。この日作戦で集められたごみは、およそ三トンを燃えるごみや空き缶のほか、不法投棄された産業廃棄物やタイヤなどもあり、参加者を驚かせていました。

地球にやさしい農業環境づくり

農業用使用済みプラスチック類の回収



七月八日と九日、JA白根市農協各支所で、農業用使用済みプラスチック

回収の回収が行われました。これは、今年から「白根市農業用済みプラスチック等適正処理推進協議会」が中心となり、産業廃棄物であるハウス用ビニールや肥料袋などを、環境問題を踏まえて適正処理しようという行われたものです。これまで年一回実施していた回収を二回に増やし、業者への処理委託料の一部は市が負担します。

一回目で集められたごみは、およそ八十トン。昨年を大幅に上回る量となりました。なお協議会では、十一月末に二回目の回収を行います。

力強い歩み、さわやかに主張

白根市青少年健全育成・社会を明るくする運動市民大会

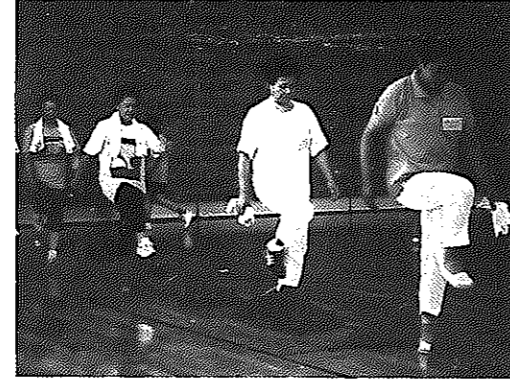


七月十七日、「白根市青少年健全育成・社会を明るくする運動市民大会」がカルチャーセンターで行われ、

社会や地域の模範となる活動をしたとして、故和久井幸治さん（山崎興野）、栗田明雄さん（下菜）の二人と連合青年団OB、新飯田商工会青年部の二団体が表彰されました。

続いて行われた「少年の主張大会」では、市内五つの中学校の代表十二人が日ごろ考えている意見や希望を堂々と発表。優秀賞に選ばれた中村晶子さん（白根一中三年）と富田恭子さん（新飯田中三年）は、白根市代表として八月十九日に行われる三市市蒲原地区大会に出場します。

健康な汗をかこう

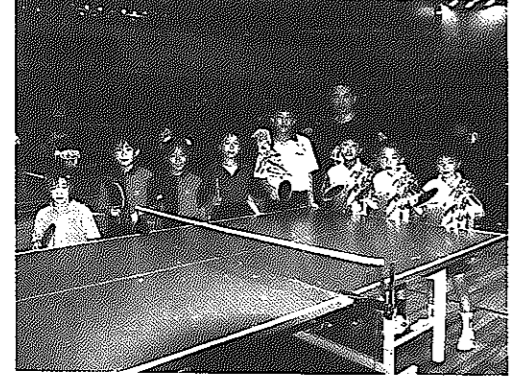


健康ふれあい教室

運動や栄養などさまざまな面から健康について学んでもらおうと、「健康ふれあい教室」が、七月から八月にかけての毎週五回、カルチャーセンターと保健センターを会場に行われました。取材した七月二十三日は三回目の教室。脈拍や体脂肪の減らし方を意識しながら、ウォーキングなどを行いました。

また、この教室には昼（金曜）と夜（水曜）の二つのコースがありました。昼のコースには無料の託児所が用意されていて、子供連れの参加者に大変喜ばれていました。

ただ今猛特訓中



ジュニア卓球チーム「白根アトム」

七月十八日、新井市で新潟県ホープス・カップ・バンビ・卓球大会兼全日本選手権県予選会が行われ、白根アトムから八人の選手が見事入賞し、うち七人が九月に兵庫県で行われる全国大会への切符を手に入れました。

入賞者は次のとおりです（敬称略）。ホープス男子②籠島隼介（小林小六年）カブ男子③佐藤慧（同四年）カブ女子①尾竹由芽（白根小四年）③橋本歩美（大鷲小三年）バンビ男子②岡田彰人（白根小二年）③小林泉（同）、山田明紀（同）バンビ女子①籠島江梨佳（同）